

第 1 章

策定の趣旨及び位置付け

- 1 はじめに ～ビジョン策定の趣旨～
- 2 ビジョンの位置付け

第1章 策定の趣旨及び位置付け

1 はじめに ～ビジョン策定の趣旨～

本市の水道事業は、昭和6年に県内2番目の水道として給水を開始して以来、市民のみなさまの健康で快適な生活と産業活動を支えるライフラインとして、拡張事業と整備事業を推進し、現在では、普及率90.5%、約15万8千人の市民のみなさまに安全で安心な水道水を供給しています。

一方、下水道事業は、昭和11年に中心市街地に下水道を建設するための基礎調査に着手したのがはじまりとされ、終戦間もない昭和24年に事業認可を得て、富山県で最初の公共下水道事業として第一歩を踏み出しています。以来、処理区域の拡大を行いながら、特定環境保全公共下水道、都市下水路など様々な下水道事業に取り組むなかで、生活環境の向上と公共用水域の水質保全、雨水の浸水の防除に努め、現在では、普及率93.3%、約16万3千人の市民のみなさまが下水道をご利用可能となっています。

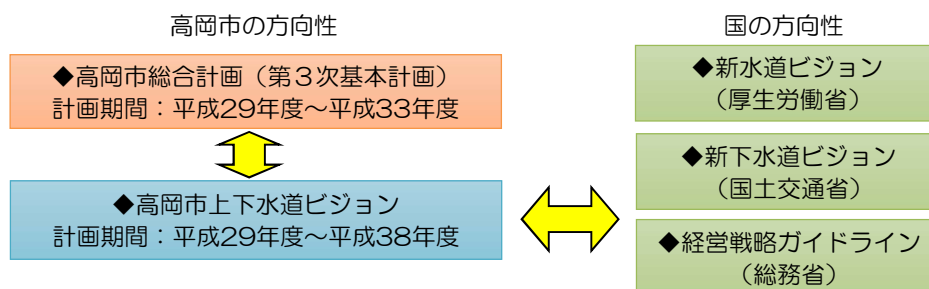
近年、人口減少社会の到来や節水社会への進展などによる水需要の減少による料金収入の減収、一方で高度経済成長期に建設した大量の上下水道施設が更新時期を迎えることや、大規模災害を踏まえた危機管理の抜本的見直しなど、上下水道事業を取り巻く環境は大きく変化し、今後一層事業環境は厳しさを増していきます。

このような環境にあっても、蛇口をひねれば水が出る、水を流せば下水道が処理してくれるという「あたりまえ」を未来に継続し、市民から信頼され続ける高岡の上下水道の構築を目指すなかで、来るべき時代に求められる課題に果敢に挑戦していくため、長期的視野に立った事業構想である高岡市上下水道ビジョンを策定します。

新たなビジョンでは、「市民とともに 未来へつなぐ 信頼の上下水道」を基本理念に、「安全」「強靱」「持続」の3つのキーワードを基本方針に掲げ、これまで以上に市民のみなさまと地域との連携を深め、市民が誇りと思う高岡の上下水道を未来に引き継ぎ、ライフラインとしての上下水道の使命を果たしていくこととしています。

2 ビジョンの位置付け

ビジョンは、高岡市のまちづくりの基本指針である「高岡市総合計画」の分野別計画の一つとして、国が策定した「新水道ビジョン（平成25年3月）」及び「新下水道ビジョン（平成26年7月）」との整合性を図るとともに、総務省が平成32年までに策定を求めている「経営戦略」の留意事項通知及びガイドライン（平成28年1月）で示した趣旨を踏まえて策定しています。



【ビジョンの位置付け】